



愛と創造

山形市立第十中学校
学校だより
H27.4.27 NO.2

1 学期始業式から ～十中生の美質～

校長 星 淳 一

4月8日、1学期の始業式を行いました。午後からの入学式を控えた午前中に、2・3年生を対象に「十中生の美質」という話をしました。787名でスタートした十中は、県内屈指の大規模校であります。しかし、当然ですが大規模校ならではの長所と短所があります。大規模校の長所を最大限活用して、短所を克服できるような教育活動を展開してまいりたいと考えております。

十中生には、開校以来引き継がれている「良さ」がたくさんあります。私が在職していた10年前も、同じことを感じていました。私は、そういう「良さ」を「美質」と呼ぶことにしました。この十中生の美質を伸ばし、望ましい集団の中で生徒一人ひとりが健やかに成長できるよう尽力したいと思っております。

始業式で、次のような内容の話をしましたので、皆様にもお知らせします。



「美質」とは、「美しい性質や行動」という意味です。この言葉が一般的になったのは、4年前の東日本大震災の時からです。日本人がとった美しい行動が「日本人の美質」といわれ、世界中から称賛されました。日本人の美質とは、具体的にはこんな行動です。

- ◇停電で電車が止まっても、誰も取り乱さず冷静に整然とルールを守って行動しました。
- ◇自分も被災して苦しんでいるのに、自分のことよりも他の人のことを心配しました。
- ◇困っている人のために何か役に立とうと、続々とボランティアに集まりました。
- ◇実際にボランティアには行けなくとも、まめに電気を消したり水を節約したり、自分ができることを人知れず実行しました。

このような美しい行動が、世界中の人たちを感動させたのです。震災から4年が経過しましたが、私たちはもう一度この行動から学び、考えなくてはならないと思います。そして、このような行動は、本校が目指す学校の姿「愛と創造」と全て重なるものです。

これまでやってきた「十中生の美しい行動」

- ・「明るく爽やかなあいさつ」
 - ・「礼儀正しい振る舞い」
 - ・「思いやりの心」
 - ・「人を感動させる合唱」
- など

「十中生の見事な行動」をさらに確かなものにして「十中生の美質」として定着させたものです。

【1学期始業式 式辞】

山形市駅伝競走大会

男子：優勝 女子：第3位（男女 県大会出場）

4月18日（土）山形市駅伝競走大会が開催されました。市内全中学生が集う春の一大イベントであります。あかねが丘陸上競技場は中学生で埋め尽くされました。そんな晴れ舞台で、女子が見事に3位に入賞し、その勢いを得て男子が優勝することができました。応援の生徒達も全校生一丸となって、選手たちを後押ししてくれました。

9月13日（日）県総合運動公園（天童市）で県大会が開催されます。全国、東北大会をかけた重要な大会です。保護者の皆様が応援できる場所は、十分ありますので、おいでいただければ幸いです。



【学校だより「愛と創造」】

学校だよりを発行しようと思います。世の中が複雑になった今だからこそ、学校、保護者、地域の連携が求められています。このたよりでは、経営方針や校長室から見た学校全体の様子をお知らせしたいと思います。これからも、教育活動について一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。